

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p><b>O</b> (支援的要因)</p> <p><b>【地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域住民は学校に対して理解があり取組を肯定的に評価している。地域の方には学校に貢献したいという思いが強くあり、協力的な方が多い。</li> </ul> <p><b>【市教委】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の新しい取組に対する高い評価と強い支援がある。</li> <li>・学校が困った時、いつでも支えようとする姿勢がある。</li> <li>・ICT機器を活用するための環境整備に積極的である。</li> </ul> <p><b>【県教委】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に向けた支援体制がある。</li> </ul> <p><b>【国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の推進</li> <li>・新学習指導要領</li> </ul>	<p><b>S</b> (強み)</p> <p><b>【学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと学習」を支える特色ある地域学習材及び指導者となる人材が豊富である。</li> <li>・教職員に期待に応えなければならないという熱意、自覚がある。</li> <li>・中学校が近く、連携した教育活動を仕組みやすい。</li> </ul> <p><b>【児童】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で明るく、真面目な児童が多い。</li> <li>・体験活動に意欲的である。</li> </ul> <p><b>【保護者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の取組に対して肯定的に評価する保護者が多い。</li> </ul>	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を中核とした研究推進と人材育成。</li> <li>・地域の特色ある学習材と人的資源を活用した『西小ふるさと学習』を通じた地域貢献と積極的な情報発信による信頼される学校づくり。</li> <li>・職員各自の持ち味を最大限に生かした組織づくりとOJTによる達成感を感じる学校づくり。</li> <li>・働き方改革の趣旨に沿った業務改善と意識改革。</li> <li>・幼小中連携教育の充実。</li> </ul>
	<p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <p><b>【地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中でのかかわりが希薄になるとともに、地域としての教育力が低下している。そのため学校への依存度が年々高くなっている。</li> </ul> <p><b>【市教委】【県教委】【国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育予算が削減化傾向にある。</li> <li>・『働き方改革』が叫ばれる中、実質的な事務作業の軽減が進まない。教育内容の増加に伴う授業時数の増加等教職員を取り巻く勤務状況が厳しい。</li> <li>・ICT機器の活用による情報モラルの育成に課題がある</li> </ul>	<p><b>W</b> (弱み)</p> <p><b>【学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の経験年数構成に偏りがあり、多様な個性や価値観を持った児童・保護者に臨機応変に対応できていない面が多い。</li> </ul> <p><b>【児童】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感が低く、自分に自信を持ってない児童が多い。</li> <li>・豊かな表現ができない児童が多い。</li> </ul> <p><b>【保護者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に無関心で学校への依存度が高い保護者が少なくない。</li> <li>・保護者同士の結びつきが弱く、家庭内の教育力も低下している。</li> <li>・家庭の教育力の低下による不登校児童への支援不足</li> </ul>	<p>・弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任・主事層を中心とした計画的な組織運営による効率化。</li> <li>・地域・保護者への働き方改革の啓発推進。</li> <li>・一校一貢献活動を中核としたキャリア教育や「西小ふるさと学習」など特色のある取組の見直し、再構築等による教職員の参画意識の醸成及び人材育成。</li> <li>・保護者への学校教育への関心度アップ。</li> <li>・積極的生徒指導の視点に立った指導と幼小中連携の充実。</li> <li>・評価活動を通じた児童の自己肯定感の向上。</li> <li>・縦割り班活動による児童同士の意図的なかかわり</li> </ul>

2 本年度重点目標



- ① 業務改善を進めるとともに、本校の特色ある教育活動を進めていくことによる地域・保護者の学校への信頼度アップ。特に地域の学習材・人材の活用による『西小ふるさと学習』を通じた社会貢献意識と規範意識の向上。
- ② 学習規律の徹底と自己肯定感の醸成。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善と学力向上。
- ③ 幼稚園・中学校との接続や連携、異学年集団での活動を通じた「かかわりづくり」「支え合う集団づくり」。